



2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

2022年2月 AI inside 株式会社（東証マザーズ 4488）

2022年3月期 第3四半期 決算サマリ

- KPI
- 進捗状況・ハイライト
- ビジネスハイライト

2022年3月期第3四半期 業績概況

- 業績概況
- 業績予想と進捗率
- 売上高の推移
- リカーリング型売上の推移
- Large Customer の推移
- DX Suite Liteの契約数推移
- DX ユーザ数の推移
- クラウドAI 利用回数の推移

Appendix. AI inside について

2022年3月期第3四半期

決算サマリ

売上高

24.8億円

リカーリング型売上比率：91%

契約件数

2,088

前四半期比 +182
うちLarge Customer1,301

解約率 (チャーンレート) ※

0.63

前四半期比 +0.10pt

AI利用回数

3Q月平均 1.2億回

前年同期比 +35.5%

ユーザ数

35,721

前四半期比 +2,148

AIモデル作成数 (Learning Center)

28件

前四半期比 +14件

※ NTT西日本「おまかせAI-OCR」を除く

業績概況

- 期初の業績予想と方針に変更なし
- 売上高は、NTT西日本の契約不更新影響により前年同期比で減収。ただし、その影響を除いた比較では、前年同期比+21.0%と伸長
- 期初予想に対し、中期的な売上高を最大化するためのパートナー新施策を導入したことにより、契約獲得の伸びがゆるやかになり、全体の売上進捗は68.7%に留まる
- コストコントロールの結果、各段階利益は通期予想に対して高進捗
- 上半期に続き、DX Suiteの製品・機能強化やプラットフォームサービス実現のための投資は継続実施

DX Suite

- ユーザ利用を促進するためのエンゲージメント施策をパートナーに提供、実施
- 結果として、パートナー売上は、前年同期比で+42.6%と伸長。ただし、パートナーアライアンスの深化（商材連携や戦略プログラム）に取り組んだことにより、通期目標の進捗に届かず
- ユーザ数は四半期で2,148増加、NTT西日本の契約不更新前の水準に回復
- AIリクエスト数が前年同期比+35.5%（前四半期比+17.9%）と伸長。Large CustomerのAI利用回数の伸びが顕著

Learning Center

- AIモデルを作成完了した案件が28件と、前四半期+14件と倍増
- あらゆる企業・団体において柔軟で最適なAI開発・運用環境を実現するため、月額課金から秒単位課金へ変更

製品・機能強化

- ・ 対応帳票の拡大
 給与支払報告書（10月）
 保険証券（12月）
 履歴書（2022年1月）
 → 保険業界、人材業界、BPO企業での活用を促進
- ・ Learning Center の料金体系見直し

AI開発基盤：	Learning Center		
	学習データ準備・作成	学習・評価（AIを作る）※	推論（AIを使う）※
利用料金	0円	0.104円/秒	0.03円/秒

※ 上記はクラウドでご利用の場合の価格

※ オンプレミス環境をご希望の場合は、AI inside Cube Proが選択可能（筐体レンタル費が別途必要）

ユースケースと利用料の例

例1：製造工程における外観検査業務で、1日8時間を10日間（合計約288,000秒）AIを利用した場合、AIの運用費用として約10,000円

例2：マーケティング業務における画像分析業務で、1日2時間を月5回（合計約36,000秒）AIを利用した場合、AIの運用費用として約1,000円

その他

- ・ ノーコードアプリ開発のユニフィニティと連携、文字認識や画像認識などのAI技術を提供開始（12月）
- ・ SBI AntWorks Asiaとパートナー契約を締結。（2022年2月）

2022年3月期第3四半期

業績概況

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 3Q実績
売上高	445	1,591	4,597	2,481
リカーリング	97	750	4,031	2,269
セリング	347	840	565	212
営業利益	△181	432	2,360	413
経常利益	△182	409	2,339	401
当期または 四半期純利益	△183	419	1,660	267

※ DX Suite と Intelligent OCR は2,088契約。Standard, Pro, Edge (AI inside Cube シリーズ用 DX Suite) プランは1,301契約で、Liteプランは787契約。また、Elastic Sorter は823契約

※ NTT西日本「おまかせAI-OCR」を除くチャーンレートは0.63%（当社は解約案件にかかる月次のリカーリング型収益を、月次のリカーリング型収益総額で除することによって月次の売上解約率を算出し、その12カ月平均のチャーンレートを開示）

※ コスト面では、対売上高比率でR&Dが15.97%、S&Mが22.82%、G&Aが19.30%、原価率は25.27%

(百万円)	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 業績予想 (A)	2022年3月期 3Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	3,275	3,609	2,481	68.7%
営業利益	1,699	453	413	91.3%
経常利益	1,697	455	401	88.1%
当期または四半期 純利益	1,025	279	267	95.8%

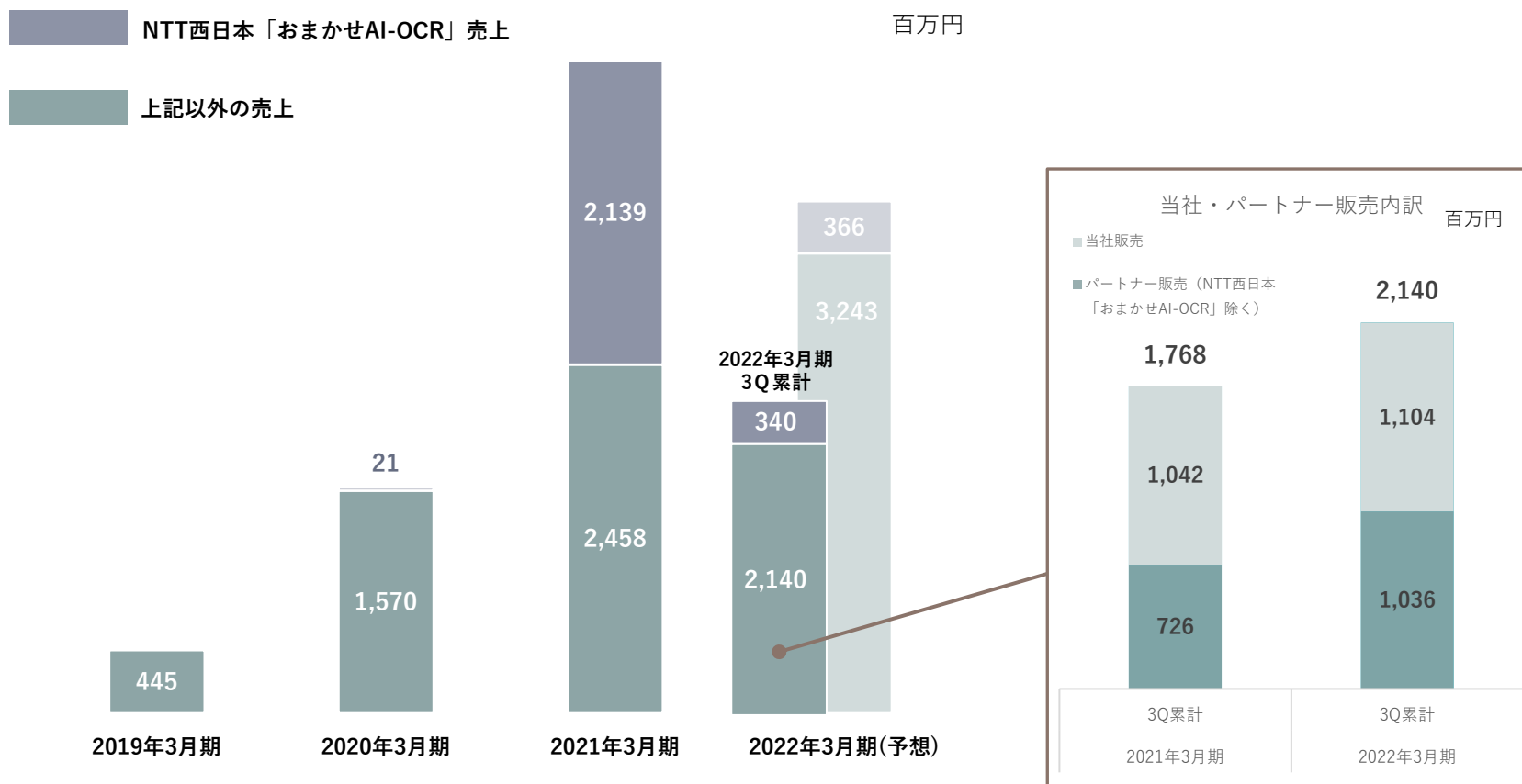
※ 2021年4月28日付け開示内容に係る、NTT西日本「おまかせAI-OCR」（=DX Suite Lite 相当）の不更新案件が当第1四半期に整理完了。



その結果、売上高及び各段階利益は前年同期と比較して減少

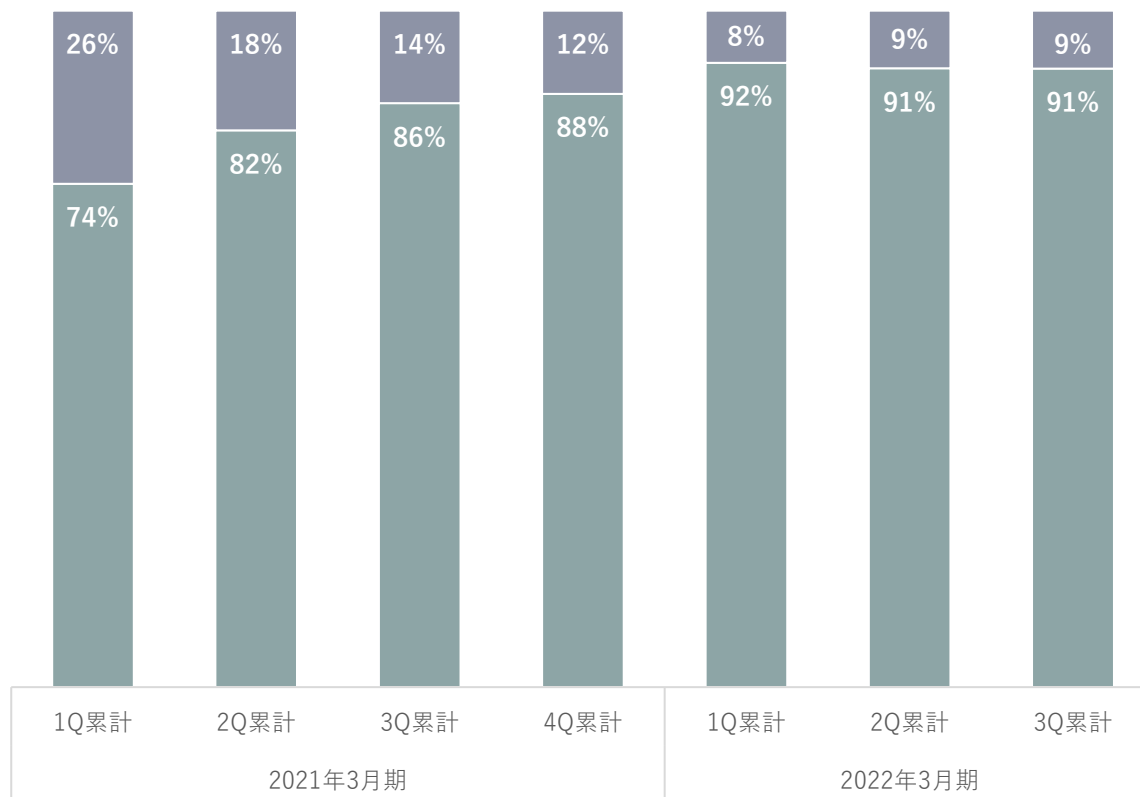
※ NTT西日本経由の契約数は減少したが、その他販売チャネルの契約数は引き続き増加（契約数推移資料をご参照）。しかしながら、Large Customerの契約件数増加が期初想定に届かず、売上高の通期予想に対する進捗率は68.7%

※ コストコントロールの結果、各段階利益は通期予想に対して高進捗率

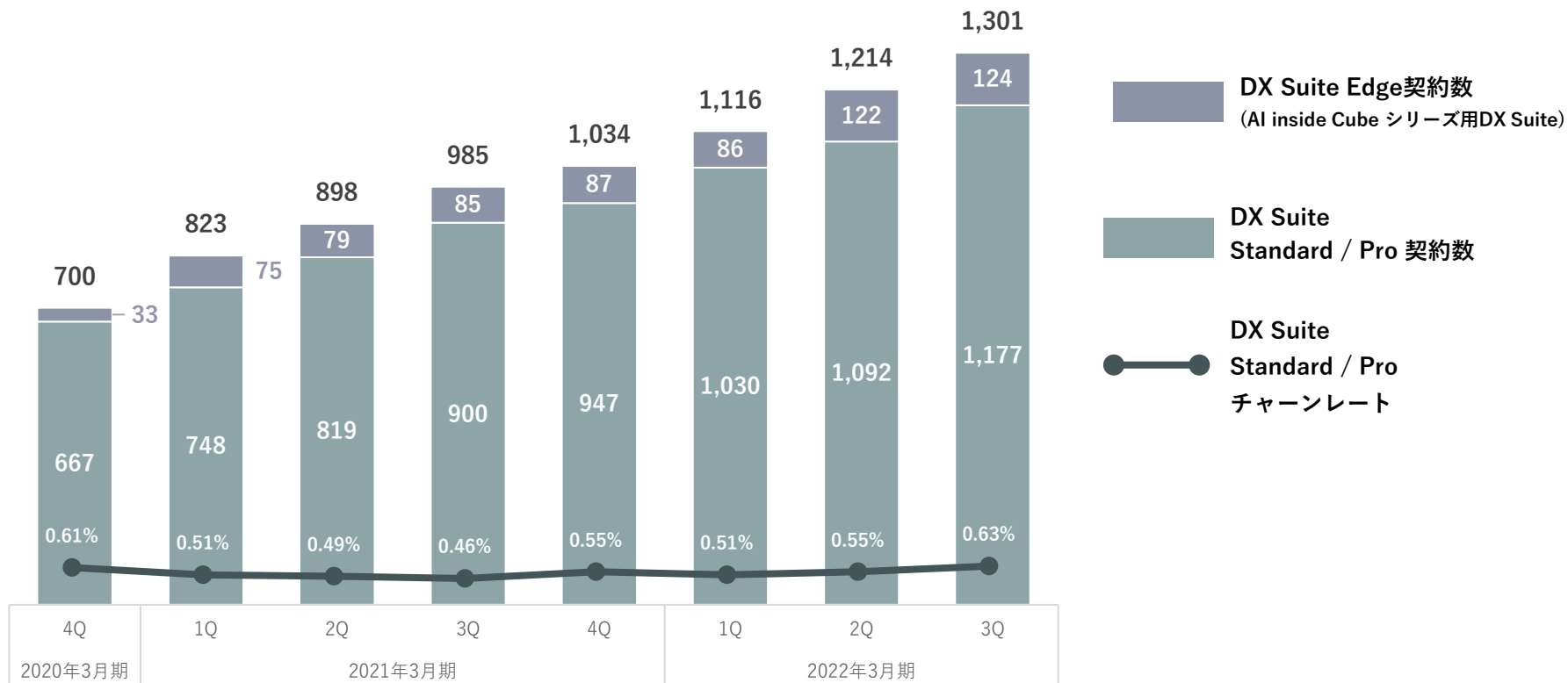
- 2021年3月期にはNTT西日本「おまかせAI-OCR」の売上が大きく上乗せされたが、2022年3月期は減少見込み
- 上記を除いたパートナー販売は、前年同期比+42.6%の1,036百万円と伸長



-  **セリング型売上**：特定の取引毎に計上される収益形態
-  **リカーリング型売上**：顧客が当社のサービスを利用する限り継続的に計上される収益形態



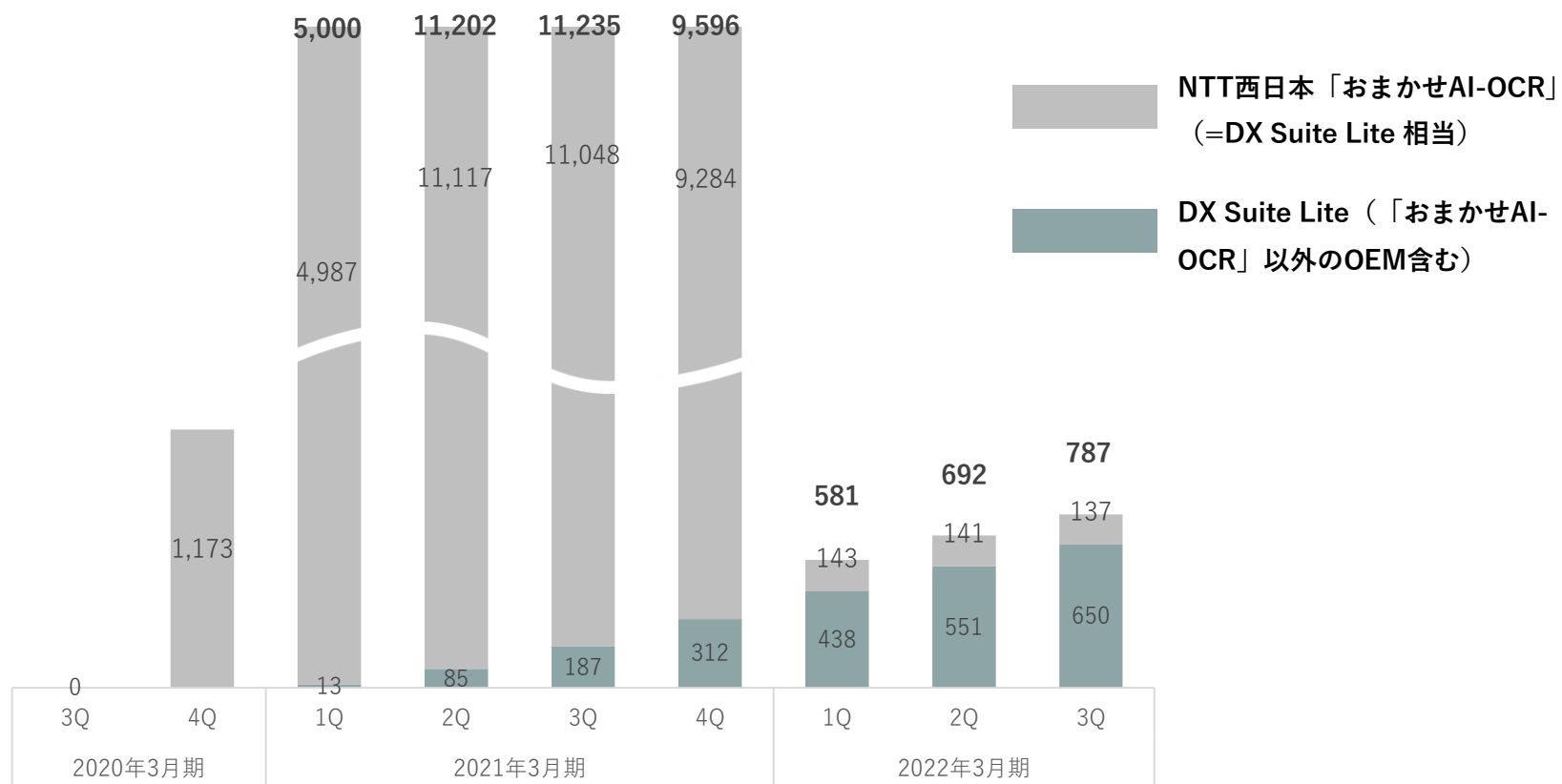
- 契約数は対前年同期比+32.0%の1,301契約
- 解約率（チャーンレート）は前年同期比+0.17ptの0.63%と微増も、低水準を維持



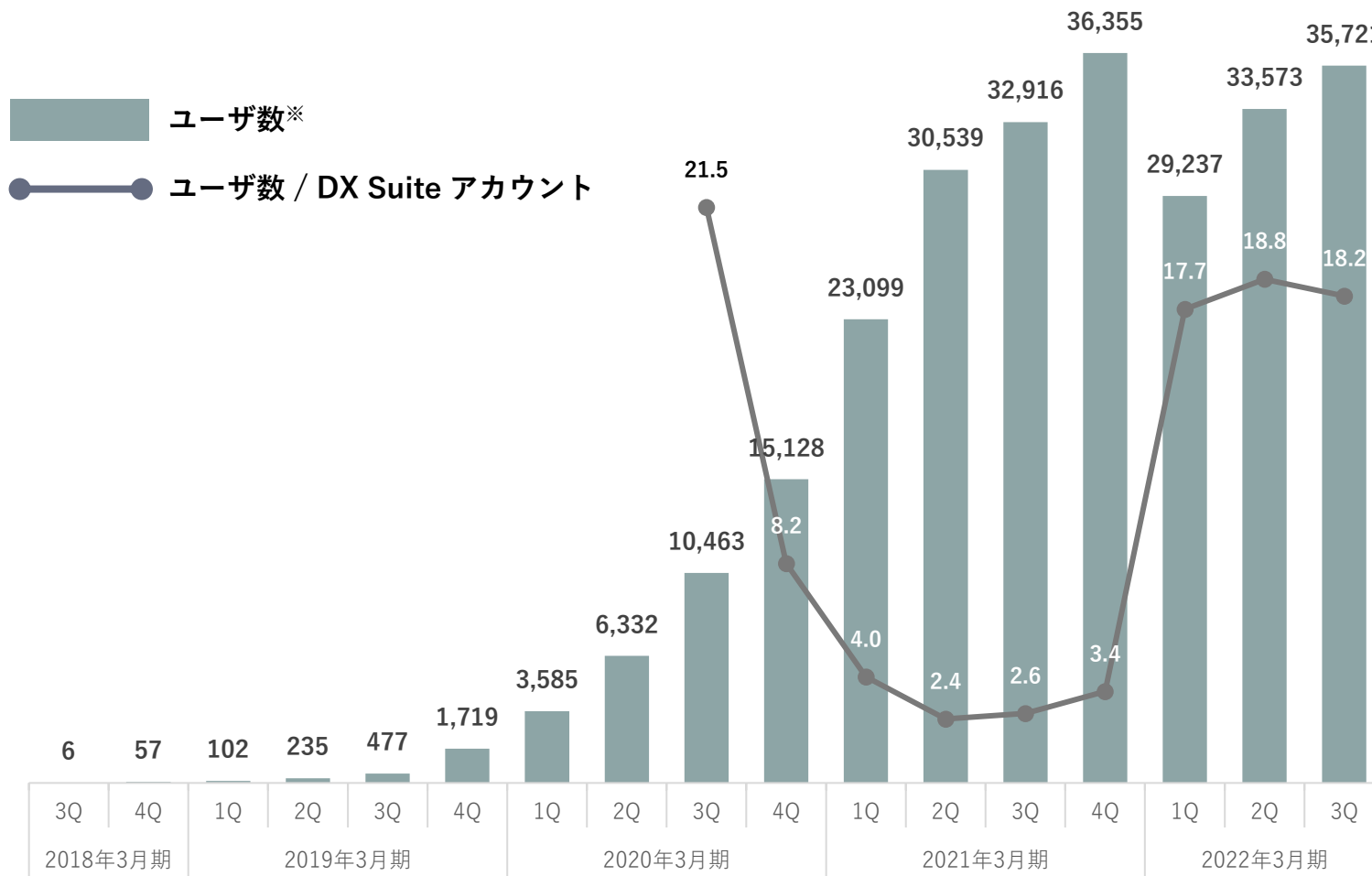
※ DX Suite Edge (AI inside Cube シリーズ用DX Suite)も含む

※ 当社は解約案件にかかる月次のリカーリング型収益を、月次のリカーリング型収益総額で除することによって月次の売上解約率を算出し、その12カ月平均のチャーンレートを開示

- NTT西日本「おまかせAI-OCR」の不更新によるアカウント整理は当第1四半期で完了
- これを除いた契約数では、前年同期比+247.5%の650契約

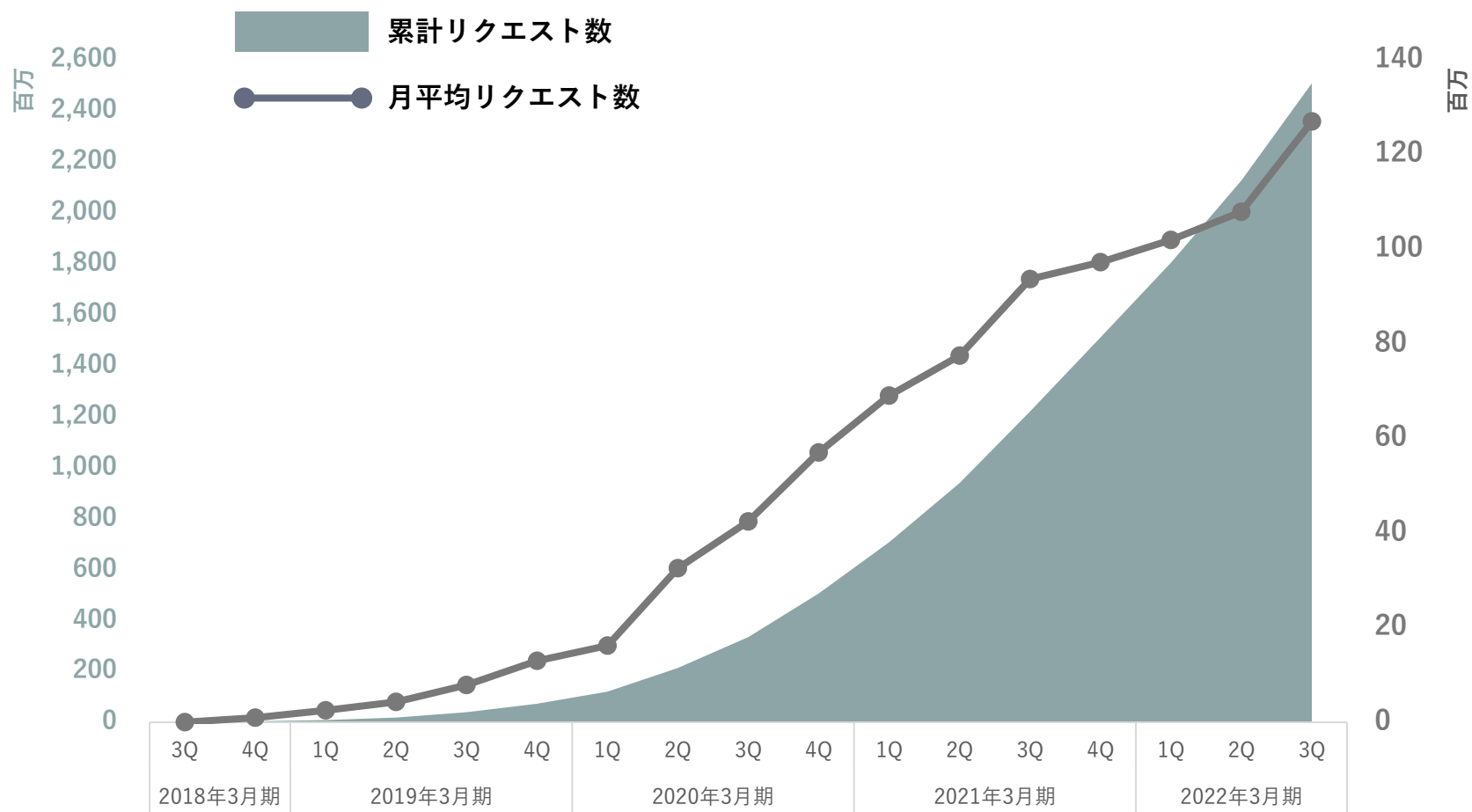


- 前四半期比+2,148増加、1アカウントあたりの平均ユーザ数は▲0.6ptと微減



※DX Suiteクラウドサービス契約中のユーザアカウント（人）の数。DX Suite Edge (AI inside Cubeシリーズ用DX Suite)のユーザ数は含まず

- ・ 累計リクエスト数は25億回を突破。月平均リクエスト数は過去最高値を更新



※ DX Suiteのクラウドのリクエスト数（利用回数）のみ。DX Suite Edge (AI inside Cubeシリーズ用DX Suite)の利用回数は含まず

Appendix

AI inside について

社名	AI inside 株式会社	
所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング4階	
設立	2015年8月3日	
従業員数	119人(2021年12月末時点)	
役員	代表取締役社長CEO	渡久地 択
	取締役COO	齋藤 真織
	取締役	前刀 禎明
	社外取締役	星 健一
	社外取締役	楠瀬 丈生
	社外取締役 監査等委員	佐藤 孝幸
	社外取締役 監査等委員	阿久津 操
	社外取締役 監査等委員	加川 亘
資本金	12億10百万円	
認定取得	国際規格 ISO/IEC 27017	
	国際規格 ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム	
	国際規格 ISO9001 品質マネジメントシステム	
	プライバシーマーク	
事業内容	人工知能事業	

ミッション

世界中の人・物にAIを届け
豊かな未来社会に貢献する

ビジョン

AI inside X

「X = 様々な環境」に溶け込むAIを実装し、誰もが特別な意識をすることなくAIを使える、
その恩恵を受けられる、といった社会を目指しています。



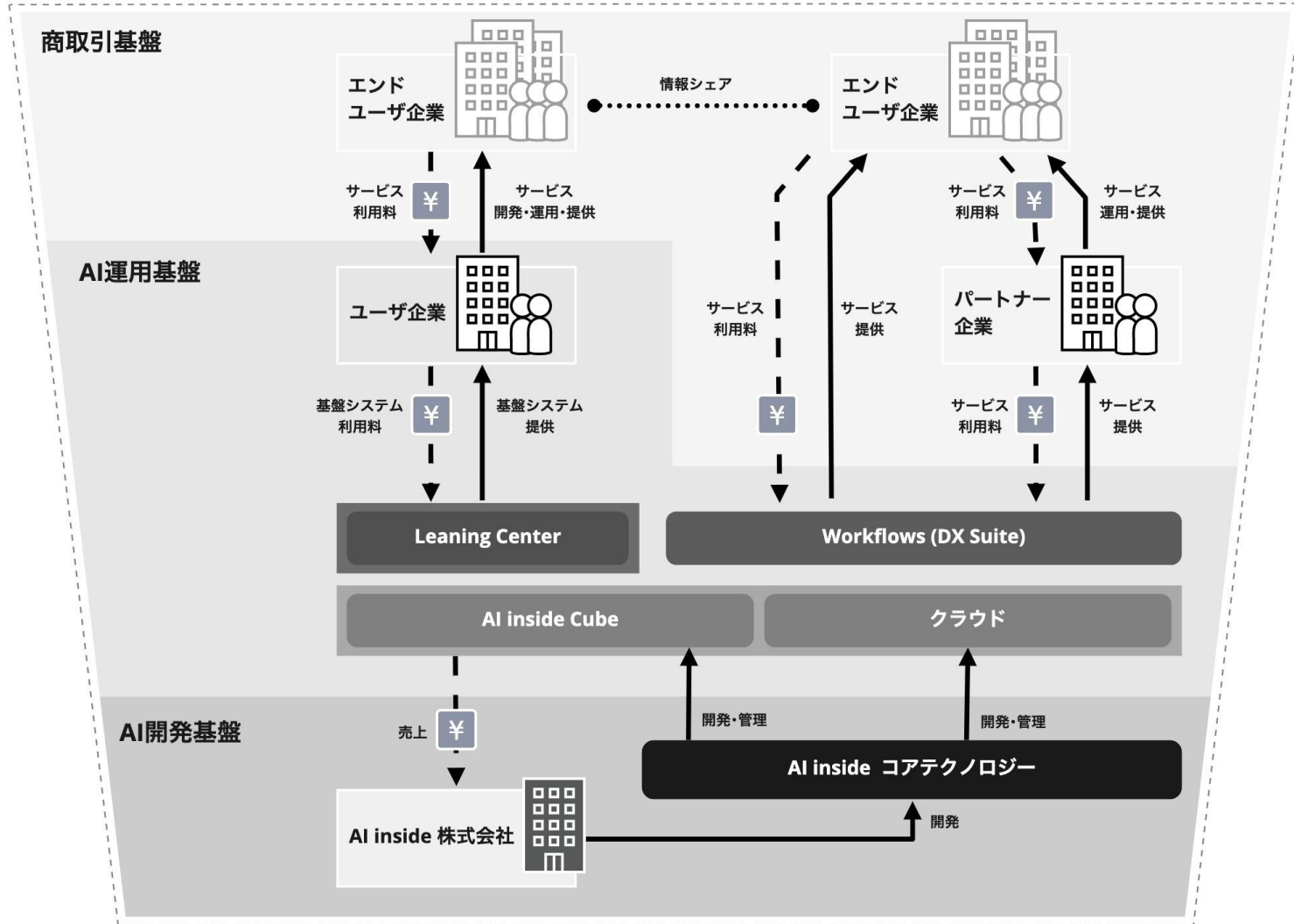
■ 2015.8 創業



■ 2019.12 マザーズ上場

	2016年3月期~2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
製品	<p>製品開発 / 実証実験</p>	<p>■ 2017.11リリース ・ DX Suite</p>	<p>■ 2018.9 リリース ・ Elastic Sorter</p> <p>■ 2019.5 クラウドAI 利用回数 1億回突破</p> <p>■ 2019.6 リリース ・ AI inside Cube (DX Suite Edge) ・ Multi form</p>	<p>■ 2020.9 クラウドAI 利用回数 10億回突破</p>	<p>■ 2021.4 リリース ・ Learning Center ・ Workflows ・ Digital Input</p> <p>■ 2021.9 クラウドAI利用回数 20億回突破</p>
パートナー		<p>■ 2017.12 パートナー販売制度開始</p>	<p>■ 2019.6 パートナー 50社突破</p>		<p>■ 2021.6 パートナー 100社突破</p>
OEM			<p>■ 2019.1 NTT東日本 「AIよみと〜る」</p>	<p>■ 2019.12 NTT西日本 「おまかせAI-OCR」</p> <p>■ 2019.12 NTTデータ 「NaNatSu™ AI-OCR」 LGWAN</p>	

AI inside Platform



AI insideが提供

ソフトウェア	DX Suite		
利用環境	クラウド		
プラン	Lite	Standard	Pro
初期費用	-	20万円	20万円
月額費用	3万円	10万円	20万円
リクエスト単価 (Pay As You Use ; Request Charge)	@3円	@1円	@1円
無料利用枠 (Free Use)	6,000 リクエスト	50,000 リクエスト	200,000 リクエスト

※ 当社直販価格に基づく

※ DX Suite Edgeについては、専用ソフトウェア（アプリケーション）に加え、筐体レンタル費用が必要

AI開発基盤：	Learning Center		
	学習データ準備・作成	学習・評価（AIを作る）※	推論（AIを使う）
利用料金	0円	0.104円/秒	※AI運用基盤を参照

※ 上記はクラウドでご利用の場合の価格

※ オンプレミス環境をご希望の場合は、AI inside Cube Proが選択可能（筐体レンタル費が別途必要）

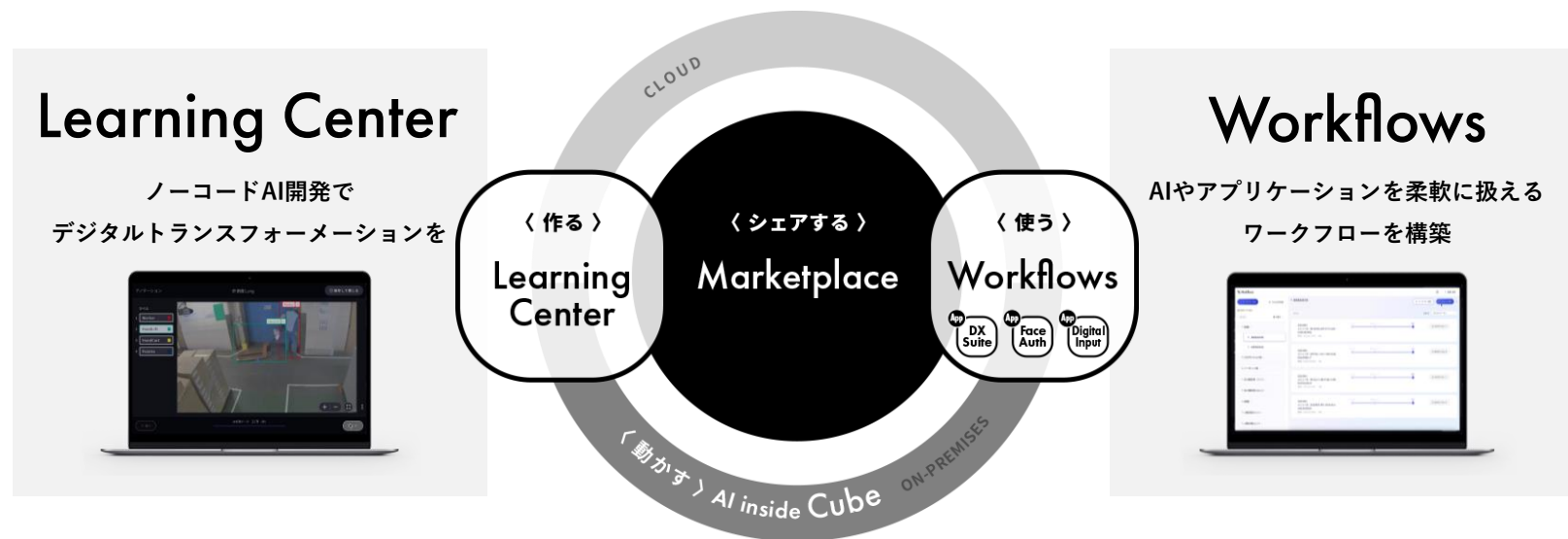
AI運用基盤：	AI inside Computing Engine	AI inside Cube mini (筐体レンタル費)	AI inside Cube (筐体レンタル費)	AI inside Cube Pro (筐体レンタル費)
提供方法	クラウド	オンプレミス		
利用料金	0.03円/秒	3万円~	10万円~	30万円~

AIを動かすインフラとしてAI inside Cloud、AI inside Cube、ネットワークを。

誰もが簡単にAIを作れるツールとしてLearning Center を。

ユーザ自身、または他のユーザや当社が作成したAI・アプリを利用するためのWorkflows を。

AI inside のプラットフォームによって、誰もが手軽にAIを作り、使える世界を実現します。



Learning Center

ノーコードAI開発で
デジタルトランスフォーメーションを



Workflows

AIやアプリケーションを柔軟に扱える
ワークフローを構築



AI inside Cube

パワフルなGPUと設計され尽くしたハードウェア、AI inside 独自のAI管理OSとソフトウェアにより、あらゆるAIの運用を実現するために作られたエッジコンピュータ



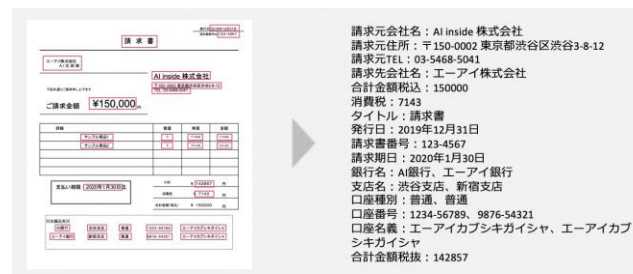
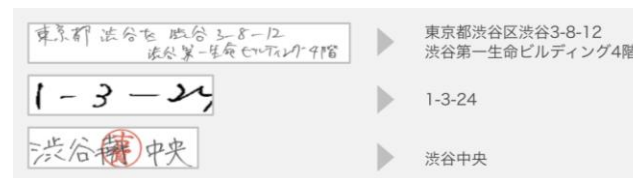
ユーザ自身、または他のユーザや当社が作成したAI・アプリを利用するためのWorkflows。
それらを柔軟に扱えるワークフローを構築します。



Intelligent OCR

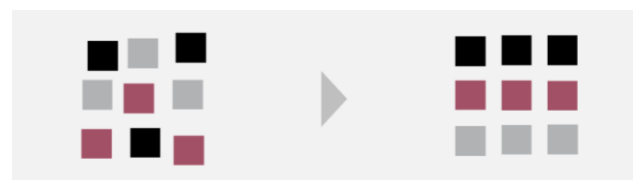
手書き、活字、FAX、写真で撮った書類まで、あらゆる書類を、高精度でデジタルデータ化します。日本語、英語、タイ語、ベトナム語、繁体字に対応しています。

※「Multi Form」オプションにつきましては、「Intelligent OCR」の標準機能として統合しました。



Elastic Sorter

書類の仕分けも、AIで自動仕分けします。



顔認証による本人確認API。オフィスの入退室確認、施設利用の会員確認、システムのログイン認証、銀行口座申し込みなどの本人確認業務や、eKYCアプリケーションへの取り込みなどにご活用いただけます。



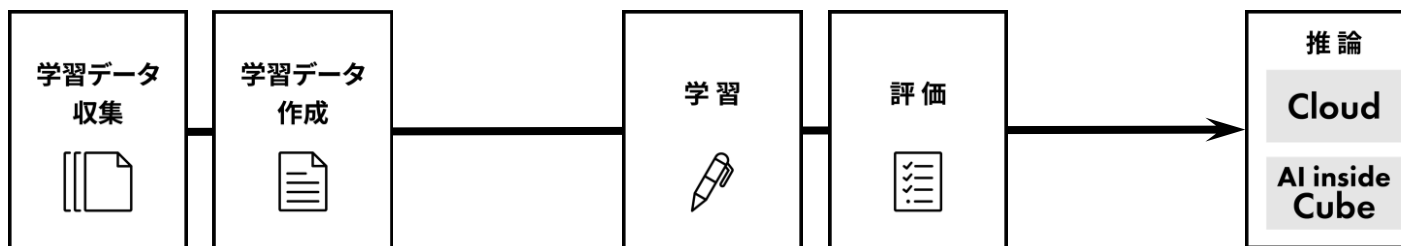
ノーコード、専門的な技術不要。

ユーザ自身で直感的にAIを作ることができる製品です。

一般的なAI開発の流れ



Learning Center によるノーコードAI開発の流れ

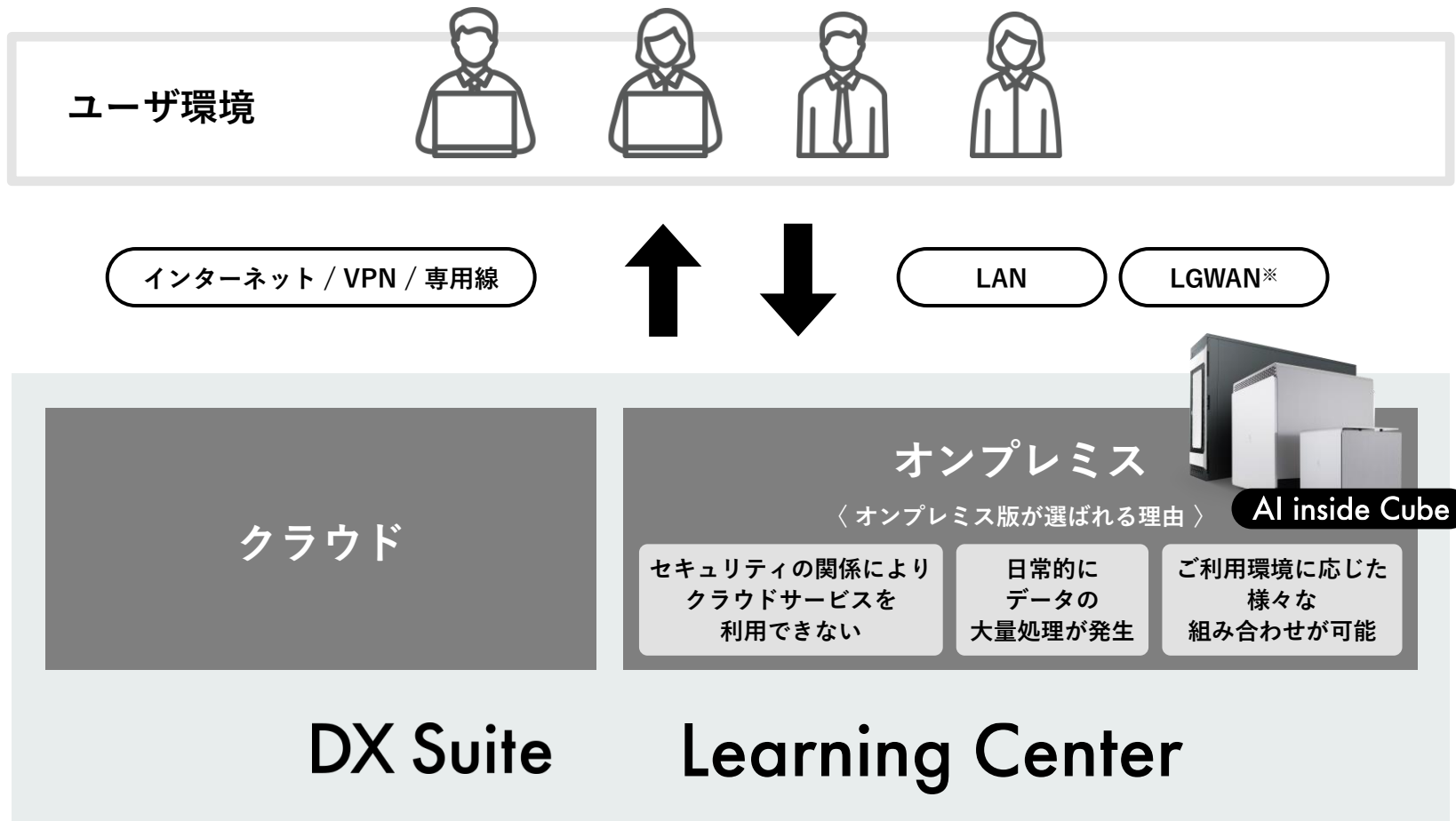


直感的な操作で、検出したい対象にスムーズにラベル付け。AIの学習準備を行えます。

AIが自動で対象の特徴を掴み、学習を進めていきます。評価を元に改善AIモデルの精度をさらに引き上げていくことができます。

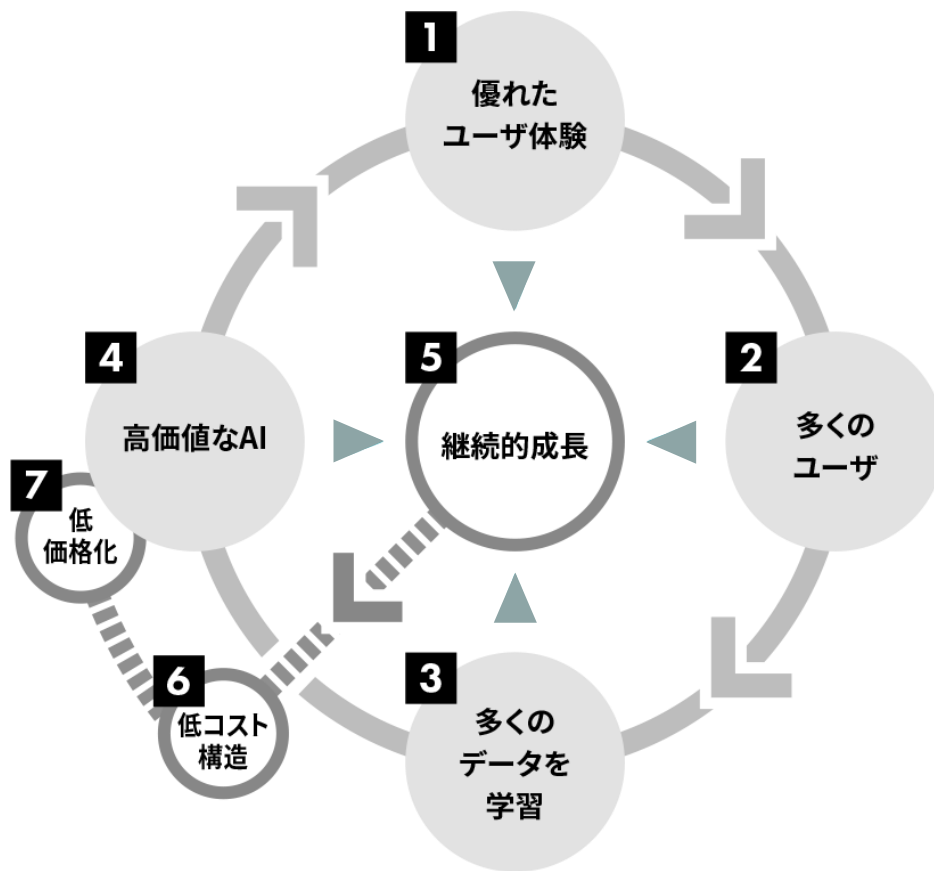
作ったAIモデルは、ワンクリックであらゆるシステムと連携可能なAPIとして指定の場所に配信されます。

ユーザ環境に応じて、クラウド（AI inside Cloud）、オンプレミス（AI inside Cube）
どちらでも提供可能です。



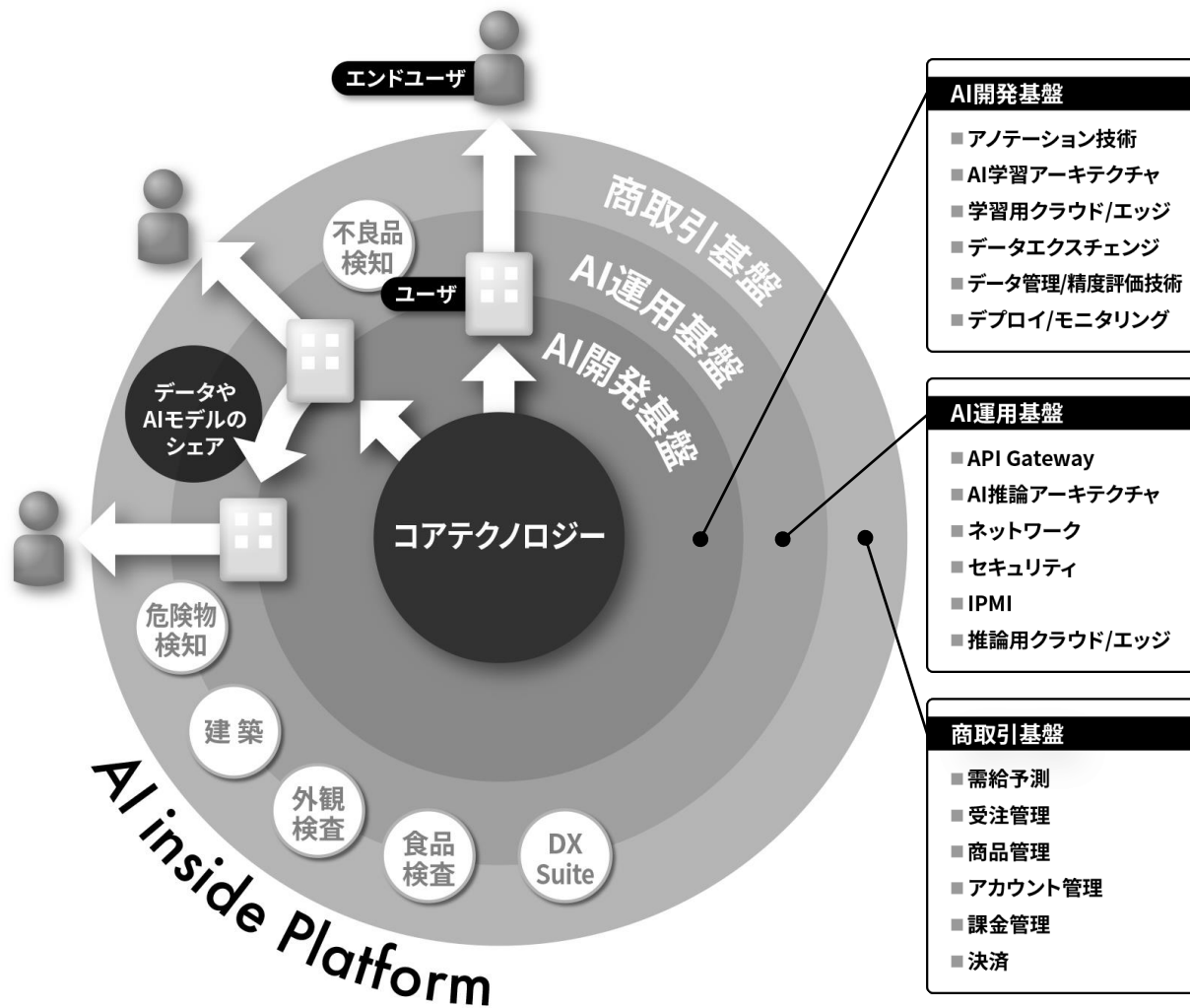
※ 地方公共団体ユーザ向けにもサービスを提供（株式会社エヌ・ティ・ティ・データと協業提供）

高価値なAIを低価格で提供することで、多くのユーザを獲得し好循環サイクル（AI inside Cycle Engine）を実現します。



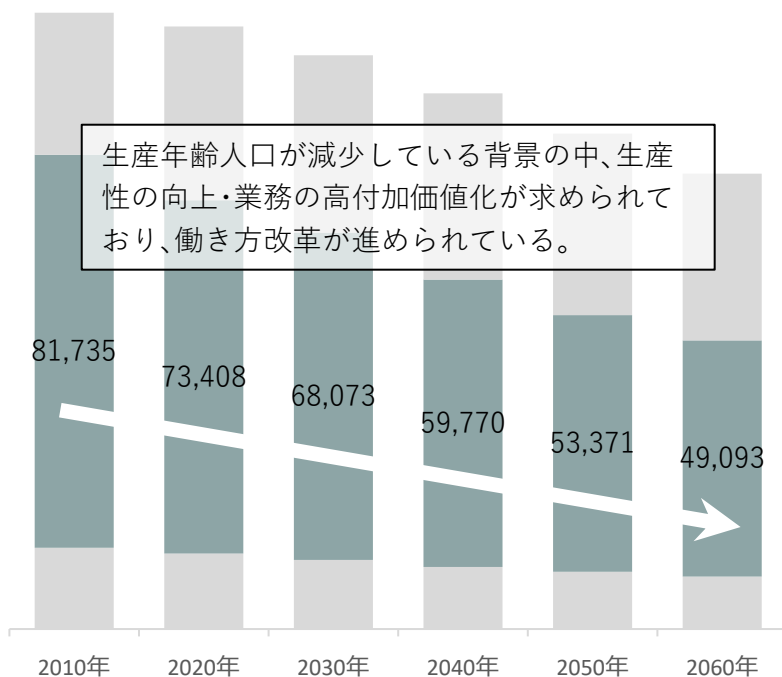
- 1 優れたユーザ体験は
- 2 多くのユーザに選ばれ
多くのユーザは多くのデータを生み出し
- 3 多くのデータを学習することで
- 4 より高価値なAIを生み出し
より優れたユーザ体験を生み出す
- 5 そのサイクルから継続的成長が生まれ
ビジネスが大規模化する
- 6 大規模化と共に生産の低コスト化が実現し
低価格化に繋がる
- 7 高価値なAIを低価格で、広く提供する

AI inside は、ユーザのサービスにAIの力を埋め込む「AI開発基盤」と、そのサービスを広くスムーズに提供するための「AI運用基盤」「商取引基盤」を提供することで、世界中の人・物にAIを届け、豊かな未来社会に貢献することを実現します。



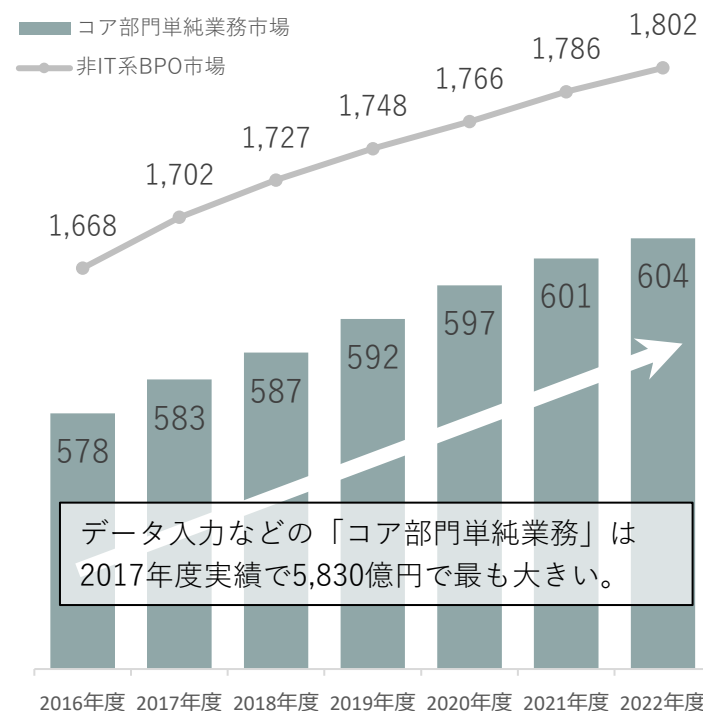
生産年齢人口が減少している一方、データ入力等の非IT系BPO市場は拡大を続けています。コア部門単純業務の市場についても2022年に6,040億円まで拡大するとみられており、それらをより効率的に実施できる当社の製品でリプレイスしていきます。

生産年齢人口の推移 (単位:千人)



生産年齢人口が減少している背景の中、生産性の向上・業務の高付加価値化が求められており、働き方改革が進められている。

非IT系BPO市場とコア部門単純業務市場の推移 (単位:十億円)

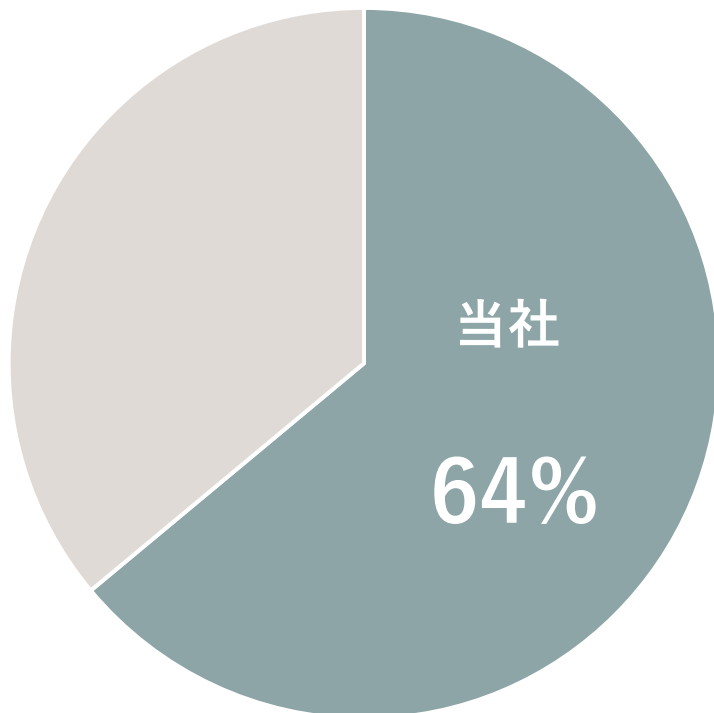


データ入力などの「コア部門単純業務」は2017年度実績で5,830億円で最も大きい。

出典：総務省「平成29年情報通信白書」2015年までは総務省「国勢調査」（年齢不詳人口を除く）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」（出生中位・死亡中位推計）

出典：株式会社矢野経済研究所『BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）市場の実態と展望 2018-2019』より、データ入力などの「コア部門単純業務」の金額を抜粋

AI-OCR市場において、当社単独で64%のシェアを実現しています。



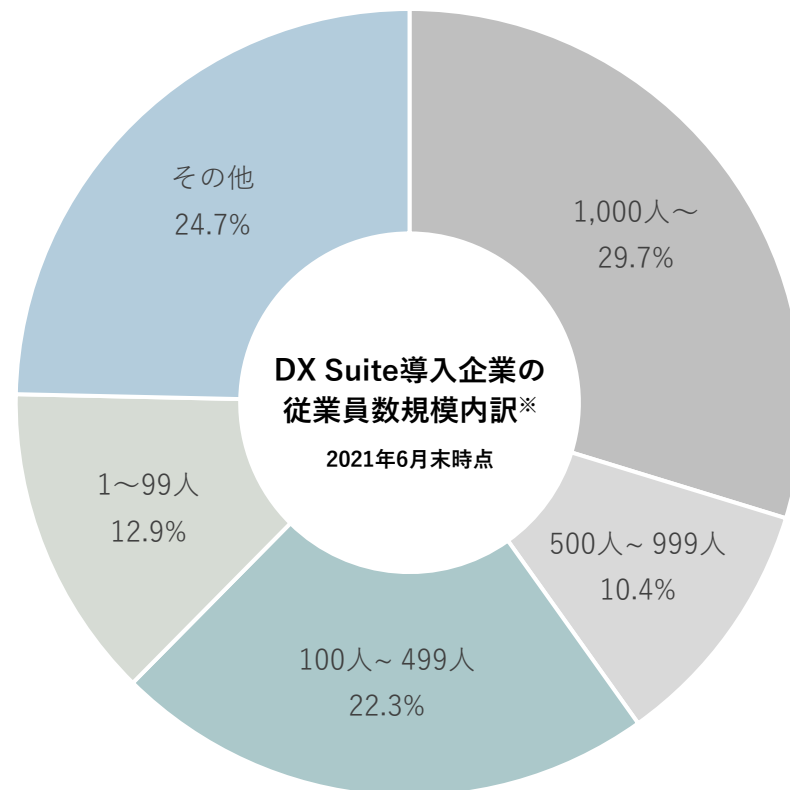
出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社2021年3月発刊「ニューノーマル時代にAI OCRで拡大するOCRソリューション市場動向 2021年度版」AI OCRソリューションベンダーのソフトウェアライセンス売上・シェア推移 2021年度予測（クラウド）

※ 当社以外の部分は、対象企業11社（当社除く）にデロイト トーマツ ミック研究所が推定した6社を加えた17社を含む

業務利用されることを想定したUIや機能により、幅広い業界(77業界※)、企業規模のユーザが導入しています。

銀行・ノンバンク	衣服・装飾品製造	空運
証券	バイオ・医薬品製造	陸上輸送
金融関連サービス	自動車関連小売	水運
保険	医療・福祉関連品製造	広告・イベント
不動産サービス	民生用電子機器製造	インターネットメディア
不動産開発・流通	電子部品・デバイス製造	コンテンツ制作・配信
資産運用	情報通信機器製造	Eコマース
リース・レンタル	半導体関連製造	通信・訪問販売
ITインフラサービス	重工業機械製造	放送・出版
通信インフラ	生産用機械製造	教育・学習支援
システム開発	機械・電気サービス	人材関連サービス
ソフトウェア開発	輸送用機械製造	パーソナルケア
飲料・たばこ製造	業務用機械製造	旅行・宿泊
食品加工	自動車部品製造	レジャー
弁当・宅配	船舶・航空部品製造	農業
飲食店	住設・建設資材	畜産・水産業
総合卸	建設関連サービス	公共インフラ
素材専門卸	インフラ建設	生活関連サービス
繊維・織物・皮革	総合建設	業務支援サービス
生活用品専門卸	印刷サービス	その他生活用品製造
家具・インテリア・雑貨	窯業・紙	その他素材加工品
総合・食品小売	容器・包装	地方自治体
食品専門卸	プラント・空調衛生工事	本・映像・ゲーム小売
家電・OA小売	廃棄物・環境関連	電気・空運卸
生活用品小売	化学	石炭
医薬品小売	石油・ガス	再生可能エネルギー源
医療関連専門卸	鉄鋼	金属採掘
医療・福祉関連サービス	非鉄金属	非金属採掘

※ FORCASによる業界分類に、「地方自治体」を加えた84分類に基づき算出（2021年6月末時点）



※ FORCASによる従業員数データを元に当社調べ
 ※ OEM製品に関しては除外
 ※ 「その他」は、従業員数データのない企業の割合。

スピーディーな販路拡大と自社営業人数に依らない事業成長を実現するため、パートナー施策を展開しています。

販売パートナー

OEMパートナー

製品連携パートナー

NTT DATA
Trusted Global Innovator

NHC
日本情報通信株式会社

NTT 東日本

AIよみと〜る
with AI Inside

FUJIFILM
富士フイルムホールディングス株式会社

東芝テック株式会社

HITACHI
Inspire the Next
日立システムズ

NECネットエスアイ

NTT 西日本

おまかせ**AI**
OCR
with DX Suite

primages+
株式会社プリマジエスト

NTTAT

RICOH

human
ヒューマンリソシア

NTT DATA
Trusted Global Innovator

nanatsu
自治体業務のお助けデジタル道具箱

RPA TECHNOLOGIES

UiPath™

SCSK

startiaraise
最先端を、人間らしく。

AI-OCR with **DX Suite**

blueprism®

BizteX

DNP
大日本印刷

MSYS
利紅情報システムズ

PASONA

※ パートナー数 104社 (2021年12月末時点)

DX Suite 拡販による成長に加えて、誰もがAIプロダクトを作り、使い、シェアできる世界(=AI inside Platform)を実現。

プラットフォーム収益化 (AIインフラ利用料やマーケットプレイス取引手数料) により、事業成長を加速させます。

契約数 × ユーザ × 製品

パートナー施策

- ・組織再編によるサポート体制強化
- ・戦略プログラムによるパートナーサポートと育成
- ・商取引基盤強化によるパートナーエクスペリエンス向上

営業施策

- ・業種、業務毎の営業戦略推進
- ・ターゲティングセールス
- ・営業生産性の向上 (オペレーション高度化)

プロダクト施策

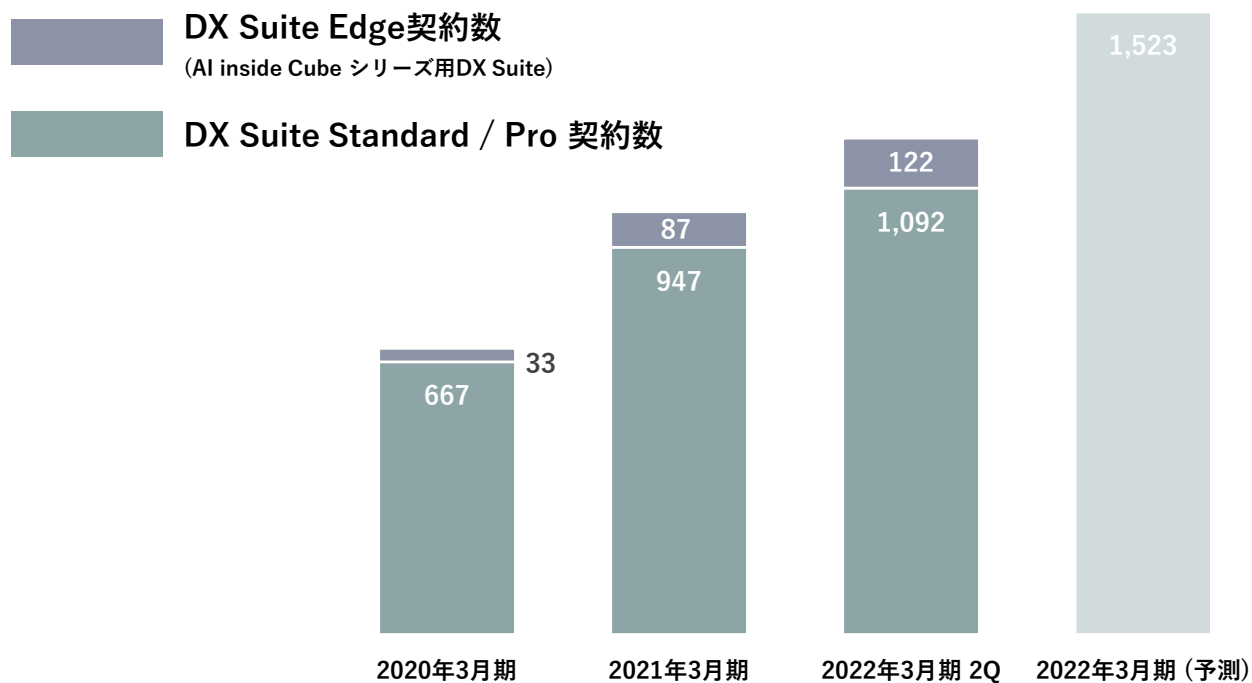
- ・当社のコアテクノロジーを使った、他社によるAIプロダクトの開発推進

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 業績予想
売上高	1,591	4,597	3,609
営業利益	432	2,360	453
経常利益	409	2,339	455
当期純利益	419	1,660	279

※ コスト面では、予想対売上高比率でR&Dが24.80%、S&Mが23.24%、G&Aが23.48%、原価率が15.93%

パートナーと共に、直販チャンネルは引き続き

ACV（Annual Contract Value=年間発注額）の高いエンタープライズに注力して販売活動を行います。



※ DX Suite Edge(AI inside Cube シリーズ用DX Suite) 契約数を含む

貸借対照表(千円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
流動資産	342,465	922,222	2,775,523	5,654,495
固定資産	50,000	44,427	232,333	1,816,409
総資産	392,465	966,649	3,007,856	7,470,904
流動負債	78,589	361,439	694,097	3,265,616
固定負債	-	-	7,971	1,851
負債合計	78,589	361,439	702,068	3,267,468
純資産	313,875	605,210	2,305,788	4,203,436

※ 有価証券報告書に基づく

損益計算書(千円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	279,435	445,264	1,591,454	4,597,295
リカーリング売上高	-	97,423	750,891	4,031,981
セリング売上高	-	347,840	840,563	565,313
売上原価	179,534	84,145	122,187	301,401
売上総利益	99,901	361,119	1,469,267	4,295,893
販売費及び一般管理費	411,308	542,607	1,036,969	1,935,260
営業利益または営業損失	△311,407	△181,488	432,298	2,360,632
経常利益または経常損失	△311,479	△182,914	409,000	2,339,197
当期純利益または当期純損失	△340,533	△183,865	419,981	1,660,567
従業員推移 (外、平均臨時雇用者数)	30 (4)	36 (9)	67 (12)	102 (18)

※ 有価証券報告書に基づく

	2020年3月期 第3四半期	2020年3月期 第4四半期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期 第2四半期	2021年3月期 第3四半期	2021年3月期 第4四半期	2022年3月期 第1四半期	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期 第3四半期
DX Suite + Intelligent OCR	510	1,873	5,823	12,100	12,220	10,630	1,697	1,906	2,088
DX Suite Edge (AI inside Cube シリーズ用DX Suite)	24	33	75	79	85	87	86	122	124
DX Suite Standard + Pro	486	667	748	819	900	947	1,030	1,092	1,177
DX Suite Lite	-	1,173	5,000	11,202	11,235	9,596	581	692	787
NTT西日本「おまかせAI-OCR」 (=DX Suite Lite 相当)	-	1,173	4,987	11,117	11,048	9,284	143	141	137
DX Suite Lite (「おまかせAI-OCR」以外のOEM含む)	-	-	13	85	187	312	438	551	650

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

また、本開示に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。